

を行うことになると考えている。

問 シティプロモーション推進事業の内容および狙いは。

答 令和5年度に策定する越谷市シティプロモーションアクションプランに基づき、越谷らしさを的確に表現したブランドメッセージとロゴを作成し、PRする。その際、越谷出身のクリエイティブディレクターが案を考え、市民投票による決定により、市民が自分事と捉え、多くの方々に認知されることを目指す。

問 男性のなやみ相談における相談内容の想定、および相談員に対する研修実施の考えは。

答 令和6年10月から月1回の男性専用の電話相談を実施する予定であり、内容としては、仕事や家族、生き方などを想定している。また、専門性の高い男性相談員を配置できるよう準備を進め、研修として、さらに高い見識を持つ者からの指導等を受けるスーパービジョンなどを実施する。

問 火災・救助活動事業として購入予定のドローンの配置場所および研修の内容は。

答 令和5年度に導入済みの1機目とともに、新たに導入予定の2機目についても、市の中央に位置する消防本庁舎に配置する予定である。なお、現時点ではドローン飛行に際して資格は要しないが、有効に飛行するためにはある程度の訓練は必要であると考えている。これまでも民間事業者等を講師に迎え訓練を行っており、今後についても、国や先進消防局等の動向を踏まえて検討していく。

民生 分科会

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 通話録音機器の貸与に対する効果と市民の声は。また、今後の特殊詐欺対策の取り組みの考え方は。

答 平成27年度から通話録音機器を貸与しており、令和6年度は100台の貸与を予定している。1年間の無料貸与後、希望の方へは、引き続き利用いただいている。今後も特殊詐欺対策に効果的であることから、継続して事業を進めていきたい。また、その他の詐欺対策として、留守番電話に設定し、直接電話に出ないように周知することや、ふれあい収集対象者への注意喚起等も実施している。

問 越谷きらきらポイント、通称「きらポ」の実績と今後の取り組みは。また、対象を拡充していく考えは。

答 「きらポ」は、65歳以上の高齢者の健康増進を図ることを目的に、令和5年6月から開始された事業であり、スマートフォンアプリを活用し、歩く、脳トレを行う等でポイントを貯めることができる。令和6年度は、約4000人の利用を目指し、取り組みを進めていきたい。また、ポイント利用の適切な対象年齢など、持続可能な事業の在り方について検討していきたいと考えている。

問 コバトンALKOOマイレージ事業開始に伴う本市の対応は。

答 本事業は、「コバトン健康マイレージ」をリニューアルさせたもので、これまでは、歩数計の参加も可能であったが、機能統一化によりスマートフォンのみの対応となった。歩数計の参加者がスマートフォンに移行できるよう、今後も周知していく。なお、市独自ポイントについては、事業の実施予定者と調整を行い、実施していきたいと考えている。

令和6年度越谷市病院事業会計予算について

問 第6期中期経営計画と現状の収支のかい離に対する認識は。また、今後の取り組みは。

答 コロナ禍の影響や光熱水費の高騰など、予測不能な要因が重なり、収支のかい離が生じたと認識している。今後について、HCUの設置を計画している。また、経営改善計画の策定を進めており、当該計画と次期の中期経営計画をリンクさせ、実効性の高い計画にしていきたいと考えている。さらに、次期中期経営計画の中で、市立病院の経営形態について、あらゆる可能性を否定することなく、その手法について検証していきたい。

環境経済・建設 分科会

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 ふるさと納税推進事業における委託料の内容は。また、ふるさと納税返礼品開発等支援補助金の内容は。

答 当該委託料は、ふるさと納税にかかる事務を効果的・効率的に進めるために業務委託するためのものであり、寄付者、ポータルサイト、返礼品の協力事業者、配送業者の間で対応する中間管理業務や、ポータルサイトへの情報掲載業務などが主なものとなる。また、ふるさと納税返礼品開発等支援補助金は、市内事業者を対象に、返礼品開発等の補助金を交付するものであり、返礼品を新たに開発する事業、既存の商品やサービスをブラッシュアップする事業、魅力をPRする事業などへの補助を検討している。

問 内水対策事業における応急対策事業の具体的な取り組み内容は。

答 具体的には、水防活動時のホース等資機材や土のう袋の購入をはじめ、排水ポンプ施設の整備、手動ゲートの電動化、水防活動の迅速化・効率化を図るための常設ポンプの設置などとなっている。設計・積算等にかかる時間も考慮し、早めに発注することで、製作期間を長く取れるよう対応していきたい。



東越谷雨水ポンプ場

問 空家等適正管理事業における、空家等実態調査委託料の委託内容は。また、効果的な空き家予防の啓発方法に対する考え方は。

答 当該委託料については、次期「越谷市空家等対策計画」を策定するうえでの基礎資料として、市内の空き家の状況や、所有者等の意向を把握するための調査を委託するものである。なお、今回の調査では、各自治会への協力は求めず、調査を行っていく。また、空き家になる前の早い段階での意識づけ等を目的に、啓発チラシを固定資産税の納税通知書に同封し送付するほか、市外所有者に対しては、ふるさと納税の返礼品であるシルバー人材センターによる「空家等見回りサービス」の案内などの送付も行っている。

子ども・教育 分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 教職員の働き方改革推進事業の効果と今後の進め方は。

答 今年度、市内の小中学校4校へ外部コンサルタントを派遣し、教職員に対するタイムマネジメント研修等を行った後、各学校でアクションプランを立案・実践した結果、時間外勤務時間や在校時間が減少した。今後はこうした成果を各学校に広めていきたい。

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 コロナの5類移行による体育館使用料や利用率の推移は。また、総合体育館の利便性向上のための取り組みは。さらに、地域体育館の予約方法や夜間管理人配置の検討は。

答 令和3年度と比較すると令和4年度の体育館使用料は全体で1000万円増、利用率は第1体育室が9.7%増、第2体育室が9%増、北体育館が0.9%減、南体育館が3%増、西体育館が6%増となっている。また、令和6年度は総合体育館2階トイレを洋式化するほか、地域スポーツセンターでインターネットによる予約抽選を試行し、地域体育館の予約方法も検討していく。さらに、夜間管理人をすべての地域体育館に配置する。

問 プレーパーク運営事業の予算が増額となった理由は。また、常設化の考え方や今後の展望は。

答 令和6年度は開催日数を増やし、委託事業として実施するため予算が増額となっている。また、事業開始当初は固定の場所での常設化も検討したが、近隣の理解や拠点施設の建設等の課題があることから、移動型の開催へ事業を転換した。事業への関心は高く、今後も市内各地でプレーパークを開催することで多くの参加者を見込めるものと考えている。



プレーパーク車両(イメージ)

問 語学指導助手の配置状況と意思疎通の方法は。また、語学指導助手の活用による成果や目標設定は。

答 配置人数は現在42名で、週5日、勤務日数200日程度となっており、小学校は3年生から6年生、中学校はすべてのクラスに配置している。また、小学校には日本語である程度コミュニケーションが取れる方を配置しているほか、中学校では英語科の教員を中心にコミュニケーションを図っている。令和5年度における中学3年生の英検3級相当の取得率は58%となっており、今後は国の第4期教育振興基本計画で掲げられている60%を目標値として取り組んでいきたい。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和6年度越谷市国民健康保険特別会計予算について…反対討論1件

令和6年度越谷市介護保険特別会計予算について…反対討論1件

各議案の概要・請願の内容は右記QRコードからご覧いただけます。



議案

請願